

2025年2月20日

報道関係者各位

虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合
中央日本土地建物株式会社
独立行政法人都市再生機構
住友不動産株式会社

虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業の施設名称

「TORANOGATE（トラノゲート）」に決定

～官民による「共想・共創・共奏」の場を創出、次世代型統合ネットワーク「POL」を国内オフィスビルとして初導入～

虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合と中央日本土地建物株式会社、独立行政法人都市再生機構、住友不動産株式会社の参加組合員3者が推進する「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」（以下、本事業）の施設名称を「TORANOGATE（トラノゲート）」に決定するとともに、ロゴマークを作成しましたのでお知らせします。



「TORANOGATE」ロゴマークおよび外観イメージ

本事業は、未来をよくする閃きが生まれるきっかけの場所「OPEN INNOVATION GATE」を施設コンセプトに、約1.1haの計画区域内に、駅と一体となった延床面積約12万㎡の国際的なビジネス交流拠点として、虎ノ門に出会いと閃きを生み出し、人・情報・技術を世界へ発信していく「次世代型ワークプレイス」と「官民交流の場」を創出します。

本事業の中核を担う「（仮称）虎ノ門イノベーションセンター」では、社会的インパクトにつながる取り組みの創出・活性化に向けて、官民の交流・連携による「共想・共創・共奏」の場を提供します。また、スマートビル化の一環として、次世代型統合ネットワーク「Passive Optical LAN（POL）」を国内のオフィスビルで初めて採用します。

1. 施設名称について

施設名称の「TORANOGATE（トラノゲート）」には、かつて江戸城の門のひとつであり、日本の行政の中枢を司る霞が関に隣接したオフィス街として発展を遂げてきた“虎ノ門”の歴史を継承し、新しい可能性を拓き、未来と世界の「玄関口」を担う存在でありたいという想いを込めています。虎ノ門一丁目から、この土地の歴史や先人の想いを大切に未来へつないでいきます。そして、あらゆる人や価値観、物事を受け入れ、有機的に交わり合いながら、虎ノ門が官民連携による国際的なビジネス交流拠点として、世界に誇れる革新的な「ゲート」に進化することを目指します。

株式会社POOL 小西 利行氏コメント

虎ノ門の歴史を重んじながらも、これからの時代を生きる人々に愛してもらえる名前にしたい。TORANOGATEは、そんな思いをベースに、オリジナリティがありつつ、口の端に上りやすい名前を目指して生まれました。この場所を訪れる世界中の人々が、笑顔で名前を呼んでくれる。そんな未来を想像してワクワクしています。

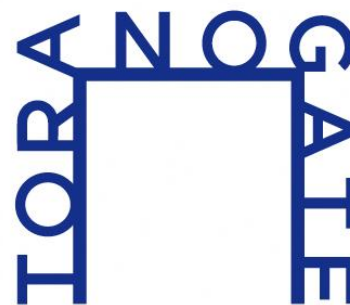


<https://pool-inc.net/>

代表実績：GREEN SPRINGS/SORANO HOTEL、GOOD NATURE STATION、THE THOUSAND KYOTOなど

2. ロゴマークについて

ロゴマークは施設名称そのものである「門（GATE）」を表すように文字をコの字型に配置し、門をくぐった先にある新しい景色や体験を期待させるデザインとしています。また、文字の向きを変えてつなげる構成は、この場所が持っている様々な要素（文化、地域、自然など）を結ぶ架け橋の意味も込めています。加えて、カラーは日本の伝統色でありながらも西洋でも馴染みのある紺色（ネイビー）を基本とし、世界中から人や情報、新たな文化が集まり、世界へ発信する拠点を表現しています。



株式会社廣村デザイン事務所 廣村 正彰氏コメント

複合施設では店舗やイベントなどのビジュアル要素があふれます。TORANOGATEのビジュアルアイデンティティは、その様々な視覚情報と調和・包括するようにバランスと展開性を重視したデザインです。このシンボルが訪れる人々に親しまれ、施設の魅力を引き立てる存在となれば嬉しいです。

<http://www.hiromuradesign.com/>

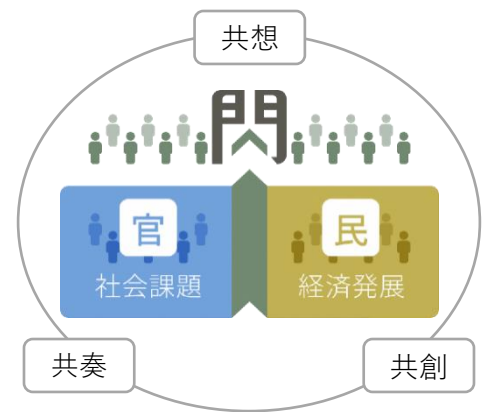
代表実績：アーティゾン美術館、東京2020スポーツピクトグラム開発、KIRINウイスキー富士、石川県立図書館、TODA BUILDINGなど



3. (仮称) 虎ノ門イノベーションセンターについて

「次世代の視点から世界に関わり続けることで、和をなす社会を共に創る」をビジョンに、虎ノ門の歴史や政治と経済の縁が交わる立地という個性を活かし、国・地方自治体等の「官」と、市民・NPO/NGO・事業者・教育/研究機関などの「民」の連携による「共想・共創・共奏」の場を創出します。

官民がそれぞれのノウハウ・視点を持ち寄り、フラットな対話を通して、「和をなす社会」の構想やその実現への道筋を“共想”し、具体的な施策・取り組みを“共創”していきます。そして施策・取り組みを広く発信して理解を得ながら、多様な人々が活動に参加し、実現に向けて“共奏”していくことで、社会的インパクトにつながる取り組みの創出・活性化を促し、「和をなす社会」の実現を目指します。

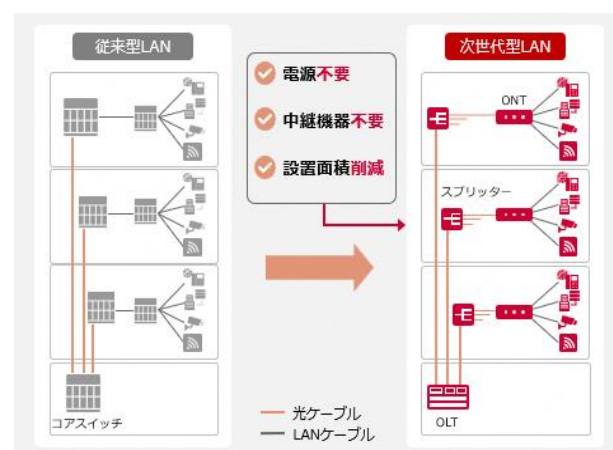


4. スマートビルの取り組みについて

本事業では、各種データを活用した設備の自動制御やロボットによるビル管理業務の実行など、様々なスマートビルの取り組みを検討しています。これらを支えるネットワークとして、NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する次世代型統合ネットワーク「Passive Optical LAN (POL)」を国内のオフィスビルとして初めて導入します。運用性・拡張性のあるビル館内のネットワークシステムを構築し、インフラの長期運用や技術アップデートに備えたスマートビルを実現します。多様な出会いと新しい閃き、そこから生まれるイノベーションを実現する「共創の場」として、スマートビルの取り組みを推進します。

次世代型統合ネットワーク「Passive Optical LAN (以下 POL : ポル)」の概要

POLとは、ネットワークの配線および機器を光化することで実現したコスト効率の優れたローカルエリアネットワーク (Local Area Network、以下 LAN) です。光と電気の変換を行わずパッシブ (電力を要しない) で長距離の光信号を複数分岐するPassive Optical Network (PON: ポン) という技術を用いて、LANを構築します。そのため、既存のイーサネットLANモデルに比べ、大容量かつ長距離の伝送が可能となり、構築・運用のコスト削減や、消費電力の約30%削減、エネルギー効率の向上、省スペース化などのメリットをもたらします。



<POL概要図>

関連リンク：[2025年2月20日:次世代ネットワークPOLのスマートビルへの提供を開始 ～構内ネットワークの消費電力30%削減実現に貢献～](#)

5. 施設WEBサイトについて

2月20日に施設WEBサイトを以下URLで公開しました。今後、本事業に関する情報はこちらのサイトでお知らせします。

<https://www.toranogate.jp/>

■ TORANOGATE事業概要

事業主体	虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合
所在	東京都港区虎ノ門一丁目1000
容積率	1,500%
敷地面積	6,397.27㎡
延床面積	119,896.26㎡
主要用途	事務所、店舗、ビジネス支援施設等
階数／高さ	地上29階地下4階／171.31m
着工	2024年1月22日
竣工	2027年10月31日（予定）
設計	株式会社日本設計
施工	戸田・西松建設共同企業体



■ 本件に関するお問い合わせ先

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室（鈴木・平山）

TEL : 03-3501-6906 FAX : 03-3506-8940

※本リリースに記載の内容は、今後の検討・協議等により、変更となる場合があります。